

報道関係者 各位

平成23年5月16日 日本科学未来館

日本科学未来館

平成23年6月11日(土)開館

日本科学未来館(略称:未来館、館長:毛利衛、所在地:東京都江東区青海)は、東日本大震災の影響により、現在、臨時休館とさせていただきます。開館は6月11日(土)10:00を予定しております。

6月11日の開館にあわせ、昨年10月より休止していたシンボル展示「Geo-Cosmos(ジオ・コスモス)」も公開します。このシンボル展示である地球ディスプレイ「Geo-Cosmos」を中心に、「Geo-Scope(ジオ・スコープ)」、「Geo-Palette(ジオ・パレット)」の3つのツールを使った、新しい地球理解のための『「つながり」プロジェクト』。多様な視点から地球を眺め、探ることで、地球上のさまざまなものの「つながり」と、私たち人類を含む「地球」というシステムを理解し、地球を未来につないでいくために何をすべきかともに考えることに取り組みます。

また、延期していた企画展やイベントを再開すると同時に、この震災でのさまざまな情報を科学的に伝える展示や実演を開催します。震災により崩落したエントランス部分の天井を、新しい発想の「膜天井」に作り替えます。現在、科学コミュニケーターによる天井設置に関するレポートを未来館HPでも連載しておりますが、この新しい天井も先端技術を紹介する展示物の1つと考え、この天井の下で安全・安心に対してともに考える実演を行います。

CONTENTS

- 1.「つながり」プロジェクト
- 2.企画展「メイキング・オブ・東京スカイツリー®」
- 3.常設展示「メディアラボ」 第9期展示「もんもとすむいえ」
- 4.新規常設展示「^{ゼロイチアン}零壹庵ーデバイスアート・コレクション」
- 5.ミニ展示「TOP OF THE TOP! - 世界の頂点をめざす研究者30名」
- 6.サイエンス・ミニトーク特別編「あなたならどうする? - 大震災に考える」
- 7.10周年ロゴについて

日本科学未来館基本情報

開館時間	10:00—17:00 (入館は閉館時間30分前まで)
休館日	毎週火曜日、12/28~1/1(但し祝日、春・夏・冬休み期間は開館)
入館料	大人600円/18歳以下200円 ※企画展は別料金 ※障害者手帳所持者は本人及び付添い者1名まで無料
館内施設	ミュージアムショップ(1F) 10:00—17:00 カフェ(5F) 10:00—17:00 レストラン「LA TERRE」(7F) 11:00—18:00 授乳室Baby's Cafe(ベビーズ カフェ)(5F) 10:00—17:00

※電力事情やその他状況により、開館日、営業時間の変更、及び、展示やイベントの運用についても、変更になる可能性があります。随時、未来館ホームページ(<http://www.miraikan.jst.go.jp>)にてお知らせします。

一般からのお問い合わせ先	本件に関するお問い合わせ先
日本科学未来館 TEL:03-3570-9151 FAX:03-3570-9150 URL http://www.miraikan.jst.go.jp	日本科学未来館 事業推進課 プロモーション担当 (press@miraikan.jst.go.jp) 〒135-0064 東京都江東区青海2-3-6 TEL:03-3570-9192 FAX:03-3570-9150

1. 「つながり」プロジェクト

「Geo-Cosmos(ジオ・コスモス)」、「Geo-Scope(ジオ・スコープ)」、「Geo-Palette(ジオ・パレット)」の3つのツールを中心とした、新しい地球理解のためのプロジェクト。地球の生態系のなかの、さまざまな生命の“つながり”。地球 46 億年の歴史とともに育まれてきた私たちの人間と地球との“つながり”。この大きなつながりのなかに自分の存在を位置づけ、今ある豊かな地球を未来につないでいくために私たちが何をすべきかをともに考えることが、プロジェクトのミッションです。

シンボル展示「Geo-Cosmos(ジオ・コスモス)」

次世代の発光デバイスとして注目を集める有機 EL パネルを使った、世界初の「地球ディスプレイ」。1,000 万画素を超える高解像度で、宇宙空間に輝く地球の姿をリアルに映し出します。

■スペック

- ・発光デバイス: 有機 EL
- ・サイズ: 直径約 6 メートル(地球の約 200 万分の 1)
- ・画素数: 1,000 万画素以上
- ・内部構造: ジオデシック正八面体モデル



オンラインサービス「Geo-Palette (ジオ・パレット)」

世界の国々や地域に関するさまざまな情報をもとに、一人ひとりがオリジナルの世界地図を描くことができるオンラインサービス。ユーザは数百種類のデータを自由に選択し、異なるデータを一枚の地図上に重ね合わせて見ることで、地球環境や人間活動の様相をさまざまな観点から再発見することができます。

URL : <http://geopalette.jp>

新規常設展示「Geo-Scope (ジオ・スコープ)」

国内外の科学者や研究機関から集めたさまざまな地球観測データへ自由にアクセスできるインタラクティブボード。

大・小サイズのボード計 13 台が展示フロアに並び、タッチパネルによる簡単な操作で、地球スケールの情報を思いのままに探ることができます。興味に応じてより深い理解につながる詳細なデータを閲覧したり、色々なデータの関連性を発見したり、来館者一人ひとりがユニークな地球体験をすることができます。



2. 企画展「メイキング・オブ・東京スカイツリー® —ようこそ、天空の建設現場へ—

本展は東京スカイツリーをシンボルとし、世界一の高さを誇る自立式電波塔の建設を可能とした先端科学技術を紹介します。東京スカイツリーの施工現場で使われた実機や設計図など、貴重な資料を通して建設現場の先端を知るとともに、日本独自のものづくりの文化、思想を再認識しながら、来場者とともに理想の未来都市について考えます。

また、会期中にはさまざまなイベントも開催予定です。(詳細は決まり次第、未来館ホームページでお知らせします)

■開催期間 : 平成 23 年 6 月 11 日(土)~10 月 2 日(日)

■場所 : 1 階 企画展示ゾーン a

■料金 : 大人 1,300 円、18 歳以下 500 円 / 団体 8 名以上 大人 1,040 円、18 歳以下 400 円

3. 常設展示「メディアラボ」 第 9 期展示「もんもとすむいえ」

常設展示「メディアラボ」は、先端情報科学技術による表現の可能性を、定期的な展示更新を行いながら紹介していくスペースです。第9期は、多様な自己表現を可能にするためのインタフェースの研究を進める、「JST ERATO 五十嵐デザインインタフェースプロジェクト」の作品を展示します。展示には、グリム童話に登場する小人のように、生活を助けてくれる架空の生き物「もんも」が登場。家電製品などにとりついて、私たちの指示に従い機械を操作します。未来の生活を予感させるような最先端のインタフェースを、もんもと一緒に体験します。

■開催期間 : 平成 23 年 6 月 11 日(土)~12 月 27 日(火)

■場所 : 3 階 常設展示「情報科学技術と社会」内

4. 新規常設展示「^{ゼロイチアン}零壹庵ーデバイスアート・コレクション」

茶室を模した展示空間で、デバイスアートのコンセプトを体現する、8人の「表現する研究者たち」を紹介。メディアラボ第1期から第8期までの3年間に展示した作品の中から代表的な7作品を、メディアラボでの展示期間中に得られた研究成果と共に展示します。

- 開催期間：平成23年6月11日(土)～平成25年春 ※2年間を予定
- 場所：3階 常設展示「情報科学技術と社会」内

5. ミニ展示「TOP OF THE TOP！－世界の頂点をめざす研究者30名」

原子・分子のミクロな世界から医療、宇宙まで。あらゆる分野で最先端をいく30名の研究者が総力を結集し、世界のトップをめざす、「FIRSTプログラム(最先端研究開発支援プログラム)」。

本展は、FIRSTプログラムで選出された研究者30名を紹介します。研究者たちは、日々何を考え、どのような研究をしているのか。その研究は私たちの生活をどのように変えていくのか。最先端の現場で活躍する研究者30名について、30枚のパネル展示でわかりやすく解説します。会期中の毎週土曜日にはメッセージコーナーを設置。研究者に対する意見や感想をカードに書きこんでいただき、会議終了後に研究者へ届けます。

- 開催期間：平成23年6月11日(土)～7月24日(日)
- 場所：3階 サイエンスライブラリ
- 入場料：無料

6. サイエンス・ミニトーク特別編「あなたならどうする？－大震災に考える」

東日本大震災以後、自然災害やエネルギー問題に対する関心がかつてないほど高まっています。もし、同じような震災が将来発生した際、私たちは適切な行動を取ることができるでしょうか。放射線や節電、災害時の通信手段などをテーマに、科学コミュニケーターとともに考えます。また、今回の震災を機に、未来館が採用した新しい発想の「膜天井」についても紹介します。

「放射線ってこわい？こわくない？」

健康や生活に関わる放射線に対する正しい知識を分かりやすく解説します。

「未来の電力ネットワーク」

いま私たちが直面している電力不足、さらには未来の電力ネットワークについても考えます。

「どうする！？災害時の連絡手段」

災害などで通信網の破損や混乱が生じた際、どうやって連絡を取り合えば良いのでしょうか？

「建物が人を守る！災害を防ぐ建築とは」

天井落下を受け、未来館がどのような対処を行ったのか。修復の紹介と共に、建築物の防災について考えます。

- 期間：平成23年6月11日(土)～8月31日(水)
- 場所：3階 常設展示フロア
- 時間：12:00～12:15 / 15:00～15:15 / 16:00～16:15(土日祝のみ)

※同スペースにて、大震災をよみとくさまざまな科学データと、復興にたずさわる研究者が思い描く未来社会をパネルでも紹介します。

7. 10周年ロゴについて

科学技術創造立国の実現にむけ、先端科学技術への理解を深めるための拠点として平成13年7月に開館した未来館。今年10周年を迎えるにあたり、キーワードである「つながりのはじまり」をイメージしました。

ロゴの「10YEARS」には「これまでの10年」と「これからの10年」、そして「10周年」の3つの意味を持っています。

(デザイン:廣村正彰)



※電力事情やその他状況により、開館日、営業時間の変更、及び、展示やイベントの運用についても、変更になる可能性があります。随時、未来館ホームページ(<http://www.miraikan.jst.go.jp>)にてお知らせします。